

## 篠山城下町地区

- 所在地： 兵庫県篠山市
- 地区面積： 約 140.0 ha
- 応募者： 篠山まちなみ保存会、篠山市

### ■地区の概要

当地区は、兵庫県の中東部に位置する篠山市の中央に所在する。篠山盆地のほぼ中央で、北には山岳仏教の修験道であった多紀連山県立自然公園、南東部には中世の山城である国史跡八上城跡、そして周囲には丹波篠山産の米や黒大豆、山の芋などを生産する田畑が広がるなど、豊かな自然的環境と歴史的文化遺産に恵まれた中に立地している。篠山城跡を中心に、武家地や町人地の町割りを残し、武家屋敷や近世から近代にかけて建てられた商家及び寺院など、城下町の要素を全体としてよく残している。

こうした城下町の景観を保全するため、昭和 40 年代からの町並み保存に向けた活動、昭和 50 年代後半から継続して取り組んでいる街路事業や歴史的建造物の保全、平成 10 年代からの伝建制度導入と景観法の活用による保全制度の整備などに取り組んだ結果、地区の歴史的景観の向上、住環境整備、住民の意識の向上につながっており、城下町地区以外の地域でも伝建制度導入が行われ、茅葺き民家が多く残る集落景観を生かして古民家を宿泊施設にしたりするなど、市内各所で景観を生かした地域づくりが進められるようになった。

長年の景観形成・保全の取り組みによって、近年では市民、関係団体などによる「丹波篠山・アートフェスティバル」に代表される自主的な活動も活発に行われるようになり、市民主体の活動と景観形成・保全の取り組みとが相まって町の活性化や町の新たな魅力創出、交流人口の増加などにつながり、兵庫県内でも有数の観光地の 1 つとなっている。

### ■審査講評

丹波篠山は、1609 年に篠山城を中心とする城下町が形成されて以来、その町割りや建物はほとんど保全されている。特に 1993 年、兵庫県が条例に基づき「歴史的景観形成地区」の指定をしてからは、建物の修理修景や環境整備が進み、地域住民の景観保全の意識も大きくなった。さらに 2004 年、国の「重要伝統的建造物保存地区」に指定後「篠山まちなみ保存会」が設立され、住民、専門家、行政の三者連携のまちづくりが進んでいる。

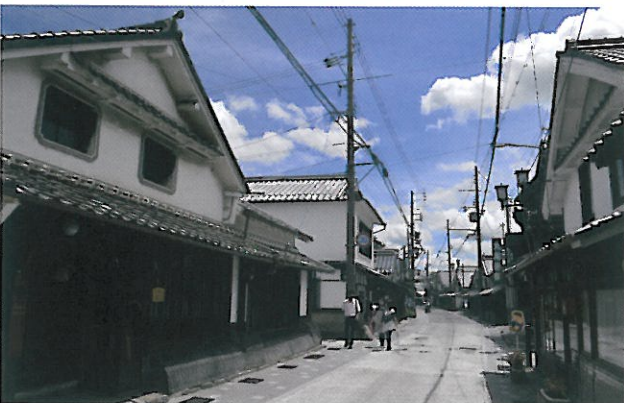
特に、地元の「NPO 法人町なみ屋なみ研究所」は活用されていない古民家の空き家の買い取りや 10 年間の無償賃借契約を結び、市民ボランティアによる修理を実施し、新たな担い手に売却、賃貸する民間ベースの保全の取り組みを行っていることは評価できる。また、近年は「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」、「ササヤマルシェ」、「丹波篠山ひなまつり」、「丹波篠山とつてもレトロな町歩き」、「古い町並みナイトウォーク」、「竹民具・竹玩具づくり」、「こどもスケッチ大会」等、町の活性化の試みが極めて活発であることも大きな特徴である。行政の取り組みに加えて、これらの市民活動によって市民が誇りを取り戻し、さらに「ターンや」ターンを含めて交流人口を増やしていることから、都市景観大賞にふさわしい地区と判断する。(卯月)



篠山城下町地区全景。周囲を田畑に囲まれ、北は多紀連山県立自然公園、南東部に篠山城下町形成前の拠点であった中世山城八上城跡を望み、現在も近世城下町の姿をよくとどめている



篠山城跡の景観。イベント等市民に親しまれる空間として活用されている。昭和 41 年度以降は石垣修理や史跡整備、公園整備が進められ、篠山市を代表する観光地となっている。



河原町妻入商家群の町並み。近世から近代に建てられた妻入町屋が数多く建ち並ぶ。街路整備や公園整備、建築物等の修理修景が進み、近年ではこの町並みを舞台とした様々なイベント等が実施されている。



御徒士町武家屋敷群の町並み。茅葺きの武家屋敷が建ち並び、往事の面影が伺える。街路整備、電線類地中化、建築物や門・塀の修理修景が進み、近年では市民主体の竹林整備等の景観向上活動が行われている。